

'98.10.19.

授業の視点:

【授業の準備】

- ・教材教具の点検
(教科書 チョーク 副教材 フラッシュカード 絵等の視覚教具
テープレコーダ等の聴覚機器及び教材 プリント類 その他)
- ・教材教具を誰がどのようにして運ぶか。
係り生徒に運ばせていいのか。

【教室に入る時の心構え】

- ・教室に入る時の表情
 - ・最初にどんな言葉を発するか。
 - ・Casual conversation の内容は。
 - ・服装・身なりは。
1. Greeting
 - ・どんな挨拶をするか。
 - ・だれにするのか。(全体から個へ)
 2. Causal conversation
 - ・どのような会話をするか。
 - ・Topics はどこから収集するのか。
 3. Warm-up
 - ・どんな活動を行うための warm-up であるか。
 - ・warm-up にはどんなものがあるか。
 - ・実際に自分でやってみて、その効果を肌で感じとる。
 - a. Warm up : 語彙を増やす
英語使用の設定の工夫
 - b. Dictation を毎時間行うには
 4. Review
 - (1) Review reading / Story-telling
 - ・reading の手順を踏まえること。
Pronunciation drill with flash cards
Model reading
Choral reading
Free or buzz reading / Read and look up
Individual reading
 - ・英語らしい音調で読むことができるためにはどんな指導をしなければならないか。
 - ・ ~ 以外の reading の形態はどんなものがあるか。
 - (2) Check of understanding
 - ・Review 教材の内容について英語で質問することの意義。
 - ・英問英答以外にどのような check of understanding の方法があるか。
 - (3) Short test
 - ・Short test を行うとしたら、そのねらいは何であるか。ねらいに合った test の形式はどのようなものが考えられるか。採点方法・記録・評価はどのようにするか。評価にはどのように結びつけるか。
 5. Presentation of the new materials
 - (1) Oral Introduction or Oral interaction
 - ・どのような補助教材を用いるか。
 - ・所要時間はどれくらいが適当か。
 - (2) Check of understanding
 - ・英語で質問するのか。日本語で質問するのか。
 - ・T or F で内容の理解度を check するのか。その他の方法はどのようなものか。
 - ・check 方法に生徒は通じているか。初めての方法だとしたらどのように check の方法を説明す

るか。

音声教材を聞かせるとしたら、どこの段階でどのように聞かせるか。

6. Reading

(1) Pronunciation drill with flash cards

- ・フラッシュカードよりよい方法又は教具はあるか。

(2) Model reading

- ・教科書準拠の音声教材に任せるのか。
- ・教師が model reading をやるのか。
- ・両方を行うのか。

(3) Choral reading

- ・reading speed はどうしたらいいのか。
- ・生徒が英語らしい音調で音読できるためには、どのような点に配慮すべきか。

(4) Free or buss reading / Read and look up

- ・まだ音読できない生徒にはどのような点に配慮したらいいのか。
- ・遊んでしまう生徒はいないか。

read and look up は、どこでやればいいのか。そのねらいは。

(5) Individual reading

- ・Individual reading の大切さを再認識すること。
- individual reading がない授業はどんな授業なのか。

【参考】

- ・音読(oral reading) と 黙読(silent reading)

- ・音読 (内容を考えずに音読する。 内容を理解できた上で音読する。 内容を理解するために音読する。)

- ・音読をする際の sense group breath group eye span の関係

・黙読 Sampling (抽出) Predicting (予測) Testing Confirming は読解のプロセスを次の4段階に整理している。

— 高梨庸雄・高橋正夫「英語リーディングの指導の基礎」研究社出版 —

- ・読解のスタイル [精読(intensive reading) 多読(extensive reading) 速読(rapid reading)]

精読(intensive reading)

- ・I propose / that the committee be organized / to investigate the matter.

「私の提案は、委員会を組織して、問題を調査することです。」

英語が動詞であれば、日本語にするときにも動詞でなければいけない、というような考えから脱却する必要がある。

英語の語順通りに理解していくことに慣れれば、直読読解に近づく。

多読(extensive reading)

- ・多読の指導計画の必要性

速読(rapid reading) 平均 280wpm / 上限 900wpm

- a. 文字の知覚力を高める
- b. 文字の認知力を高める
- c. eye span を広げる
- d. 逆行読みを防ぐ
- e. 予測力を高める(文脈を予測できる文法能力をつける)

7. Explanation of difficult points

- ・日本語を使う時には、効果的な日本語を用いる

8. Consolidation and Homework Assignment

- ・Homework と授業との関連性
 - ・適切な所要時間を考慮する
-